

- 問1 愛知県の渥美半島では、夜間に電灯をつけて菊の開花時期を調整する「電照菊」の栽培が行われています。このように、人工的に光を当てることで開花を遅らせ、出荷時期を調整する主な目的として最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 夜間の気温を上昇させることで、成長の速度を早めるため | 2. 正月などの需要が高まる時期に合わせて出荷するため | 3. 夏の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない時期に供給するため | 4. 害虫が菊に付着するのを防ぎ、農薬の使用量を減らすため |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
- 問2 長野県に隣接する県の地理的な特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|------------------------------------|---|--|
| 1. 隣接する県のうち、関東地方に属する県はすべて政令指定都市を県庁所在地としている。 | 2. 長野県は海に面していないため、隣接する県もすべて内陸県である。 | 3. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは山梨県と神奈川県である。 | 4. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは群馬県と埼玉県である。 |
|---|------------------------------------|---|--|
- 問3 長野県の八ヶ岳山麓周辺では、夏から秋にかけてレタスなどの野菜の生産が非常に盛んです。静岡県などの温暖な地域では冬から春に出荷のピークを迎えるのに対し、長野県が6月から9月の夏場に圧倒的な出荷量を確保できる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 標高が高い地域の涼しい気候を利用して、平地では栽培が困難な時期に生産を行っているから | 2. 都市部までの距離が近いため、収穫後すぐに市場へ届けることができる利点を最大限に活かしているから | 3. ビニールハウスや温室などの施設を利用して、自然の気温よりも温度を上げて成長を早めているから | 4. 大規模な灌漑設備を整え、乾燥しやすい夏場でも大量の水を供給できる体制を整えているから |
|---|--|--|---|
- 問4 ある県の人口統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり4638.4人と突出して高く、昼夜間人口比率も104.4%と100%を上回っています。また、2000年から2020年にかけて人口が約3万3千人増加している場合、この地域の人口動態に関する記述として正しいものを選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下している | 2. いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学している | 3. 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある | 4. 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない |
|--|--|---|---|
- 問5 長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| 1. 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため | 2. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため | 3. 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため | 4. 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---|
- 問6 愛知県名古屋市中京工業地帯の中核をなす都市ですが、その製造品出荷額の内訳は県全体の構成とは異なる特徴を持っています。名古屋市の製造品出荷額約17.6兆円のうち、約36%を占めて最大の割合となっている工業分野として適切なものを次の中から選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|------------|---------|--------|
| 1. 電気機械工業 | 2. 輸送用機械工業 | 3. 化学工業 | 4. 鉄鋼業 |
|-----------|------------|---------|--------|
- 問7 静岡県の太平洋沿岸を中心に広がる工業地域についての説明として、最も適切なものはどれですか。この地域は、オートバイや楽器の製造が盛んな都市や、豊富な水資源を利用した製紙業が発達した都市を有しています。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 京浜工業地帯 | 2. 北関東工業地域 | 3. 中京工業地帯 | 4. 東海工業地域 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問8 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから | 2. 製品の鮮度を維持する必要がある、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから | 3. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから | 4. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから |
|--|---|---|--|
- 問9 近代日本の長野県において、製糸業が地域の主要な産業として発展した背景や地理的要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 冷涼な気候を利用した茶の栽培が盛んになり、輸出用の茶葉を加工する拠点として発達したから。 | 2. 鉄道網の整備により、日本海側から運ばれる石炭を燃料とした重化学工業が内陸部で発展したから。 | 3. 外国から輸入した安価な綿花を加工し、大量の綿織物を輸出するための大規模な工場が集まったから。 | 4. 水田に適さない山間部の傾斜地などを活用して、原料となるカイコの餌の栽培と蚕養が行われたから。 |
|---|--|---|---|
- 問10 富山市における昭和中期から平成にかけての地域変化について、JR富山港線沿線の状況を説明した文として、背景や要因を含めて最も適切なものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 地価の安かった県庁付近の畑地が、人口の過密を解消するために新興住宅地として再開発された。 | 2. 富山城址の北東にある市役所の移転に伴い、その周辺の広大な水田がすべて官公庁街へと作り替えられた。 | 3. 米の生産過剰を解決するために、政府の主導によって鉄道沿線の水田がすべて工場用地や商業ビル群に転換された。 | 4. 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。 |
|---|---|---|--|
- 問11 石川県で生産されている伝統的工芸品である輪島塗が、他の地域の漆器と比較して「堅牢（頑丈）である」と評価される理由として、その製造工程における特徴を説明したものとして適切なものはどれか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 岩手県から産出される良質な鉄分を漆に配合し、金属のような強度を持たせているため。 | 2. 京都の絹織物の技術を応用し、漆器の表面に薄い布を貼り付けて補強しているため。 | 3. 下地塗りの段階で、地元で採れる珪藻土を焼いた「地の粉」を漆に混ぜて塗り固めているため。 | 4. 福島の豊かな森林資源から得られる特殊な樹脂を、仕上げの段階で何層にも重ねて塗るため。 |
|---|---|--|---|
- 問12 日本のある果物の生産量上位県を見ると、1位が山梨県、次いで長野県、山形県、岡山県、福岡県となっています。この果物の栽培に適した地理的条件についての説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 冬の降雪量が多く、年間を通じて湿潤で日照時間が短い地域が適している。 | 2. 夏でも涼しく、保水力の高い粘土質の土壌が広がる湿地帯が適している。 | 3. 年間を通して温暖で雨が多く、平坦な沖積平野が広がる地域が適している。 | 4. 水はけが良い扇状地や、年間の降水量が少なく日照時間が長い内陸の気候が適している。 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---|